

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

がん対策課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島がん高精度放射線治療センター		
所在地	広島市東区二葉の里三丁目2番2号		
設置目的	がんの治療水準の向上を図るため、がん患者に対して放射線による治療を提供する。		
施設・設備	リニアック治療室、診察室、治療計画室、患者待合スペース等		
指定管理者	1 期目	H27. 10. 1～H31. 3. 31	(一社) 広島県医師会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	新規患者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	1 期	30		736 人	—	—
29			602 人	—	—	—
28			588 人	522 人	352 人	△66 人 (88.8%)
27			259 人	170 人	—	△89 人 (65.6%)
	(導入前)		—	—	—	—
増減理由	4 基幹病院（広島大学病院，県立広島病院，広島市民病院，広島赤十字・原爆病院）からセンターへの紹介患者数が見込を下回ったこと等により，目標値を下回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	患者紹介フロー，スタッフの評価，センター利用の満足度について，調査を実施	センターに患者紹介を行った医療機関とセンターで診療を受けた患者を対象に実施
	【主な意見】	【その対応状況】
	駐車場が分かりにくい。	来館方法が分かりやすいよう，ホームページの改修を実施
	早朝や土曜日の開院を要望する。	今後，満足度調査を定期的実施し，その動向も確認しながら，引き続き検討する。
アクセス，代金，時間，スケジュール等が知りたい。	ホームページを改修し，必要な情報を掲載した。	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業説明書
	月報	○	治療実績等報告（運営会議で報告）
	日報（必要随時）	○	患者紹介状況報告，診療報酬請求報告
管理運営会議 （運営協議会 月 1 回・県庁他） （運営会議 月 2 回・現地）	【特記事項等】 ・ 4 基幹病院，県，広島市，県医師会の 7 者で構成する運営協議会を，月 1 回ペースで開催し，安定的な運営について協議している。 ・ 通常の業務運営については，毎月，県と指定管理者で運営会議を開催している。 【指定管理者の意見】 運営に当たっては，県等と相談，連携しながら，丁寧に取り組む。 【県の対応】 センターは，7 者の連携共同事業として運営していることを踏まえ，指定管理者と十分に意思疎通を図りながら取り組む。		
現地調査（12 月，2 月に実施）			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	1期	28	391,534	247,102		該当なし			
		27	144,432	H27.10~H28.3					
(導入前)		—	—						

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	391,534	144,432	247,102	平成27年10月に施設を設置したものであり、単純に比較できないことから、主な増減理由等は記載していない。
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	391,534	144,432	247,102	
	支出	給与費	220,351	108,091	112,260	
		材料費	7,658	2,643	5,015	
		水道光熱費	17,655	7,076	10,579	
		消耗品費等	9,877	2,923	6,954	
		管理委託費等	103,468	17,549	85,919	
		研修研究費	3,631	2,422	1,209	
		その他	28,894	3,728	25,166	
		計(B)	391,534	144,432	247,102	
	収支①(A-B)		0	0	0	
自主事業 (※)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		0	0	0		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	4基幹病院とその他のがん診療連携拠点病院が連携したネットワーク型がんセンターとして、各医療機関からの紹介患者に高精度放射線治療を行った。また、海外の認証機関から世界水準の施設と認定された。	患者数は目標を下回ったが、海外の認定機関から認定を受けるなど、安全で質の高い治療を患者に対して提供できており、設置目的である県のがん医療水準の向上に十分貢献できている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	開業以来、着実に患者数は増加している。また、これまで医療事故は1件も発生しておらず、紹介元の医療機関、治療を受けた患者からも高い評価と信頼を得ている。	開業から1年半、全く事故がなく運営できており、医療スタッフ等の対応についても評判は良く、高い信頼を得ている。また、がん相談外来や他病院でのHIPRAC外来を開始し、患者数の増加に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	更なる患者数増加のため、セミナーの開催、チラシ・ポスターの配付や医療機関の訪問等を実施し、認知度の向上に努めている。	施設の認知度を高め、紹介患者数を増やすため、マスメディアの取材への協力や県民向けのチラシ・ポスターの配付、医療機関への訪問等、広報活動を積極的に行っている。
	○施設の維持管理	施設内外の巡回や日常の機器メンテナンス等を通じて汚損や故障等の把握に努め、安全性と清潔さの維持に努めている。	施設の巡回を適切に行い、汚損等に迅速に対応する等、医療機関にふさわしい医療安全、感染対策が行われている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	高度な専門性を有する医療スタッフを確保し、安全かつ適切な医療を提供している。	専門性の高い医療スタッフを十分に確保できている。
	○効率的な業務運営	看護師の雇用の抑制や光熱水費、診療材料、消耗品等の費用の節減に努めた。	光熱水費、診療材料、消耗品等の経費の節減だけでなく、人件費等の固定経費の精査もできている。
	○収支の適正	開業2年目は、患者数、収入共に目標を下回っており、引き続き、取組を継続的に実施していく必要がある。	紹介患者数の増により、安定的な運営を行うことが課題となっている。
総括		放射線治療を必要とするがん患者に対して、迅速かつ丁寧に、安全で質の高い治療を提供した。 今後は目標達成に向け、紹介患者数の増加に向けた取組を継続するとともに、センター設置のもう1つの目的である人材育成についても、取組を強化していく。	患者に対し、質の高い先端的な放射線治療を安全に提供できており、施設の目的に沿った運営がされている。 一方で、紹介患者数が目標に達しておらず、収入も下回っていることから、4基幹病院以外の病院との連携を強化するとともに、施設の認知度向上やセンターの優位性のPRを行う等により、紹介患者数を増やす必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	○引き続き、安全かつ質の高い医療の提供を行う。 ○積極的な広報や医療関係者への働きかけを進め、紹介患者数の増加を図る。 ○県内医療機関の放射線治療の品質管理に対して、技術的な支援を行う。 ○人材育成に資する取組を強化する。	○安定的な運営のために7者が行った取組の成果等を検証し、その結果を踏まえ、更に取組を促進する。 ○県民向け公開講座の開催や、マスメディア等を通じた、広報活動を積極的に展開する。
中期的な対応	○着実に治療実績を集積し、県内のがん治療水準の向上に寄与する。 ○高精度放射線治療を担う医療人材を育成する。	○利用料金制に移行することで、運営コストの削減を図る。 ○患者数の状況を踏まえながら、人員の配置を含めた効率的な運営体制を検討する必要がある。